

JIS

圧縮及び引張コイルばね— 設計・性能試験方法

JIS B 2704 : 2000

(JSMA/JSA)

(2005 確認)

平成 12 年 3 月 20 日 改正

日本工業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

まえがき

この規格は、工業標準化法第14条によって準用する第12条第1項の規定に基づき、社団法人 日本ばね工業会 (JSMA)/財団法人 日本規格協会 (JSA) から工業標準原案を具して日本工業規格を改正すべきとの申出があり、日本工業標準調査会の審議を経て、通商産業大臣が改正した日本工業規格である。

これによって、JIS B 2704 : 1994は改正され、またJIS B 2702 : 1994, JIS B 2707 : 1994及びJIS B 2708 : 1994は廃止され、この規格に置き換えられる。

JIS B 2704には、次に示す附属書がある。

附属書1 (参考) 熱間成形コイルばね

附属書2 (参考) 冷間成形圧縮コイルばね

附属書3 (参考) 冷間成形引張コイルばね

主 務 大 臣 : 通商産業大臣 制定 : 昭和 37. 8. 1 改正 : 平成 12. 3. 20

官 報 公 示 : 平成 12. 3. 21

原 案 作 成 者 : 社団法人 日本ばね工業会 (〒101-0038 東京都千代田区神田美倉町12 TEL. 03-3251-5234)

財団法人 日本規格協会 (〒107-8440 東京都港区赤坂4丁目1-24 TEL. 03-5770-1573)

審 議 部 会 : 日本工業標準調査会 機械要素部会 (部会長 大園 成夫)

この規格についての意見又は質問は、上記原案作成者又は経済産業省 産業技術環境局標準課 産業基盤標準化推進室 [〒100-8901 東京都千代田区霞が関1丁目3-1 TEL 03-3501-1511(代表)] にご連絡ください。

なお、日本工業規格は、工業標準化法第15条の規定によって、少なくとも5年を経過する日までに日本工業標準調査会の審議に付され、速やかに、確認、改正又は廃止されます。

圧縮及び引張コイルばね— 設計・性能試験方法

B 2704 : 2000

Helical compression and extension springs— Requirements for design, performance test method

序文 この規格は、JIS B 2702 : 1994 (熱間成形コイルばね)、JIS B 2704 : 1994 (圧縮及び引張コイルばね—設計基準)、JIS B 2707 : 1994 (冷間成形圧縮コイルばね) 及び JIS B 2708 : 1994 (冷間成形引張コイルばね) を統合し、本体を性能規格とし、附属書を JIS B 2702、JIS B 2707 及び JIS B 2708 をもとに参考として記述した。

1. 適用範囲 この規格は、一般に使用する圧縮コイルばね及び引張コイルばねのうち、円形断面の材料を用い熱間又は冷間で成形する円筒形コイルばね (以下、ばねという。) の設計・性能試験方法について規定する。

2. 引用規格 次に掲げる規格は、この規格に引用されることによって、この規格の規定の一部を構成する。これらの引用規格は、その最新版を適用する。

- JIS B 0004 ばね製図
- JIS B 0103 ばね用語
- JIS G 0558 鋼の脱炭層深さ測定方法
- JIS G 0565 鉄鋼材料の磁粉探傷試験方法及び磁粉模様の分類
- JIS G 3521 硬鋼線
- JIS G 3522 ピアノ線
- JIS G 3560 ばね用オイルテンパー線
- JIS G 3561 弁ばね用オイルテンパー線
- JIS G 4314 ばね用ステンレス鋼線
- JIS G 4801 ばね鋼鋼材
- JIS H 3260 銅及び銅合金線
- JIS H 3270 ベリリウム銅、りん青銅及び洋白の棒及び線
- JIS Z 2243 ブリネル硬さ試験—試験方法
- JIS Z 8401 数値の丸め方

3. 定義 この規格で用いる主な用語の定義は、JIS B 0103 による。

4. 材料 ばねに用いる材料は、表1に示す。それ以外の材料の使用については、受渡当事者間の協定による。
なお、主な材料の引張強さの最小値を、参考表1に示す。